

加工・業務用ほうれんそう冬まき春どり栽培品種の生育及びルテイン含量特性

「スーパーアリーナ零」の生育及びルテイン含量は、「スーパーアリーナ7」と有意な差はありません

背景・目的

- 加工・業務用ほうれんそう冬まき春どり栽培においては、これまでの主要品種である「スーパーアリーナ7」でベと病の発生があったことから、後継品種として「スーパーアリーナ零」が栽培されており、ルテイン含量など品種特性を確認する必要があります。
- そこで、両品種における生育及びルテイン含量の品種間差及び「スーパーアリーナ零」におけるルテイン含量の地域間差を明らかにしました。

成果の内容

- 「スーパーアリーナ零」の草丈・反収は「スーパーアリーナ7」と差は無く、都城市と宮崎市との間で地域間差はありません（表1）。
- 「スーパーアリーナ零」のルテイン含量は、都城市・宮崎市ともに「スーパーアリーナ7」と差はありません（図1）。
- 「スーパーアリーナ零」のルテイン含量は、都城市と宮崎市との間で地域間差はありません（図2）。

表1 草丈および反収の品種間差・地域間差

年度	場所	品種	草丈 (cm)	株重 (g)	全重 (t/10a)
2021	都城市	スーパーアリーナ零	46.4	146.1	6.9
	宮崎市	スーパーアリーナ零	50.1	143.7	6.8
	都城市	スーパーアリーナ7	40.0	124.6	5.9
	宮崎市	スーパーアリーナ7	48.0	134.8	6.3
2022	都城市	スーパーアリーナ零	55.5	177.2	8.3
	宮崎市	スーパーアリーナ零	52.3	208.3	9.8
	都城市	スーパーアリーナ7	55.7	163.7	7.7
	宮崎市	スーパーアリーナ7	55.2	223.2	10.5
二元配置 分散分析	場所	n.s.	n.s.	-	
	品種	n.s.	n.s.	-	

n = 8、n.s.は有意差無し。反収は株重量から換算。

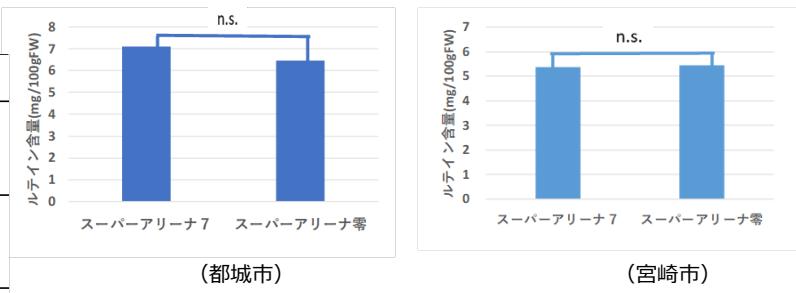
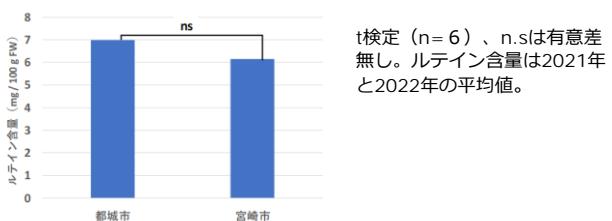


図1 ルテイン含量の品種間差



t検定 (n=6)、n.s.は有意差無し。ルテイン含量は2021年と2022年の平均値。

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 「スーパーアリーナ零」は、加工・業務用ほうれんそうの生産地域で、作型は冬まき春どり（播種1～2月、収穫4月）で活用できます。
- 「スーパーアリーナ7」の代替品種として導入します。（代替率30%）

留意点

- 冬まき春どり栽培において、都城市及び宮崎市で栽培した結果です。